

平成29年度 病院事業庁長マネジメントシート(最終実績)

病院名	三重県病院事業庁										
ビジョン	県立病院として良質な医療を安定的・継続的に提供することで、医療の面から県民と地域の安全・安心を支援します。また、医療従事者にとって魅力のある病院づくりを進めます。										
経営方針	県立病院としての役割や求められるニーズに応じた医療を提供するとともに、病院の健全経営を進めます。また、医師・看護師等の人材確保・定着を図るとともに、病院機能の充実、業務改善等に取り組みます。さらに、風通しの良い職場、思いを共有し、共に実践する組織をめざします。										
区分	経営シナリオ	目標	主な成果 (重要成功要因)	業績評価指標	H28 実績値	H29 目標値	H29 実績値	アクションプラン	実績評価	次年度への課題	
顧客の視点	<p>安定的、継続的な医療の提供</p> <p>地域や県民ニーズに応じた医療の提供</p> <p>良質で安全・安心な医療の提供</p> <p>患者満足度の高い医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●精神科専門医療の提供</li> <li>●家庭医療の実践</li> <li>●地域に必要な医療体制の整備</li> <li>●地域の医療機関等との連携・協力</li> </ul>	安定的・継続的な医療の提供	患者満足度の向上	患者満足度	91.2%	93.0%	88.7%	・患者アンケートの分析、改善活動 ・医療機関、県民等を対象とした研究会、講演会、セミナー、病院祭等地域医療の水準向上、開かれた病院運営等の積極的な実施	・接遇委員会を設置し、接遇意識の向上に取り組むなど、患者満足度向上に努めたものの目標を達成することができなかった。	・患者アンケート結果などをふまえながら、引き続き、患者満足度の向上に取り組んでいく必要がある。	
			県立病院の役割・機能の提供	訪問看護等延べ患者数	9,349人	8,700人	9,317人	・このころの医療センターにおける地域生活支援機能の充実や一志病院における訪問診療・訪問看護等の在宅療養支援の充実	・このころの医療センターでは前年度を下回ったものの、一志病院では前年度を上回ったことで、目標を達成することができた。	・患者の在宅療養が継続できるよう、引き続き、在宅療養支援のニーズに応えていく必要がある。	
			救急医療の充実	救急患者受入件数	1,559件	1,230件	1,523件	・救急医療の提供体制の確保	・このころの医療センター、一志病院ともに、目標を達成することができた。	・このころの医療センター、一志病院ともに、引き続き、関係機関との連携を図りながら救急患者の受入体制を維持していく必要がある。	
			地域の関係機関等との連携強化	関係機関等との連携件数	24件	34件	36件	・地域の医療機関や大学、関係機関等との連携・協力関係の強化	・地域の医療機関や大学、関係機関等と積極的に連携し、目標を達成することができた。	・引き続き、積極的に関係機関等と連携していく必要がある。	
			医療事故の防止	医療過誤数	0件	0件	0件	・事故防止のための継続した取組	・医療安全に係る委員会の活動を通じて、意識向上を図り、目標を達成することができた。	・医療事故が起こらないよう、引き続き、あらゆる機会を通じて、事故防止の啓発等に取り組んでいく必要がある。	
財務の視点	<p>県立病院の健全経営</p>	県立病院の健全経営	経常収支均衡 資金収支均衡	経常収支比率 医療収支比率	102.7% 70.8%	101.9% 71.4%	100.4% 67.7%	・2病院の医療収支比率の改善 ・入院患者数の確保に向けた取組 ・外来患者数の確保に向けた取組	・経常収支比率や医療収支比率などについて、目標を達成できなかったものの、前年度に引き続き、黒字を確保することができた。	・引き続き、病院事業庁経営会議等を通じて、各病院の経営状況等を把握しながら、経営改善に取り組んでいく必要がある。	
			1日平均入院患者数	322.8人/日	332.0人/日	311.4人/日					
			1日平均外来患者数	338.6人/日	358.0人/日	312.0人/日					
内部プロセスの視点	<p>医師・看護師など医療スタッフの確保・定着</p> <p>病院機能の充実、業務改善、革新</p> <p>危機管理の推進とコンプライアンスの確立</p>	医療スタッフの確保	人材の確保・定着	医師充足率	90.2%	100.0%	86.2%	・医師確保(県医療対策局との連携、大学等への医師派遣要請等) ・勤務医にとって魅力や働きがいのある職場環境づくり(医師の研修環境の充実、学会等への参加の柔軟化や良好な住環境の確保等)	・医師にとって魅力ある病院づくりに努めるとともに、ホームページを刷新して病院の魅力の発信などを行ったものの、目標を達成することができなかった。	・引き続き、医師にとって魅力ある病院づくりや、ホームページ等を通じた病院の魅力の発信に取り組んでいく必要がある。	
		業務改善の推進	看護師充足率	100.0%	100.0%	100.0%	・看護師の確保・定着のための修学資金制度の周知・活用、看護実習や新人看護師への技術支援体制の充実等	・就職説明会の複数回開催などとともに、看護師が働きやすい職場環境づくりに取り組むことで目標を達成することができた。	・引き続き、看護師の確保・定着促進に取り組んでいく必要がある。		
			研修医の受入れ	後期研修医受入人数	5人	5人	4人	・後期研修医の受入体制の確立	・指導医を確保したものの目標を達成することができなかった。	・引き続き、後期研修医を受け入れられるよう指導体制を維持していく必要がある。	
		危機管理の推進とコンプライアンスの確立	看護師等実習生の受入れ	看護実習生等受入人数	2,300人	2,530人	2,739人	・看護学生を対象とした看護実習の充実 ・研修指導医、看護実習指導者等の育成	・実習受入れに積極的に対応し、目標を達成することができた。	・引き続き、実習内容をPRしながら、受入要請に積極的に対応していく必要がある。	
			改善活動の定着	業務改善取組テーマ数	2件	2件	2件	・未収金対策、診療報酬対策の2つをテーマに掲げ、業務改善活動を推進	・未収金については、担当者会議を定期的に開催し、診療報酬については、新たな加算等を取組むことができた。	・引き続き、病院事業庁職員と病院職員が連携して、業務改善活動を定着・推進していく必要がある。	
			災害医療体制の構築	災害時の医療支援訓練実施回数	5回	4回	4回	・医療事故や自然災害等を想定した図上訓練の実施等 ・災害支援体制の確立(院内備蓄の整備・充実)	・図上訓練等を計画的に実施することができた。	・引き続き、各種研修会等を計画的に実施し、災害時等における対応力の向上やコンプライアンスの徹底を図っていく必要がある。	
		指定管理者制度導入後の進捗管理	リスクマネジメントの確立実践	医療安全委員会の開催回数	25回	24回	24回	・医療安全対策・感染対策の充実、マニュアルの適切な運用・不断の見直し・検討 ・個人情報管理等安全確保のための組織の充実	・各病院における医療安全に関する委員会を定期的に開催するとともに、マニュアル見直し等を行った。		
コンプライアンスの確立実践	研修会等の実施		3回	3回	3回	・コンプライアンスの確立に向けた取組の実施等	・事例検討を通じたコンプライアンス研修を計画的に実施することができた。				
学習と成長の視点	<p>風通しの良い職場づくり</p> <p>チーム力を最大にするコミュニケーションの向上</p> <p>一人ひとりの職員の専門能力の向上</p>	風通しの良い職場づくり	職員満足度の向上	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的回答割合	63.4%	-	-	・「明るく(A)、楽しく(T)、前向きに(M)、そして自身の健康と家族を大切に」をモットーに明るく風通しの良い職場づくりの推進 ・ワーク・ライフ・マネジメントシート等を活用した対話の実施			
		コミュニケーションの向上	病院現場訪問等	5回	5回	5回	・現場やコミュニケーションを重視して思いを伝えあい、共有し、共に実践する組織づくり	・病院現場を重視する視点を常に持ちながら、明るく風通しの良い職場づくりや、職員間のコミュニケーションを大切に、共に実践する組織づくりに取り組んだ。	・病院が開催するイベントや現場訪問による職員との対話を通じて、引き続き、風通しの良い職場づくりに取り組んでいく必要がある。		
		専門能力の向上(スキルアップ)	職員アンケート「プロとして成長しているか」の設問での肯定的回答割合	65.0%	-	-	・研究・研修環境の整備・充実、研究発表の推進(専門分野での資格取得のための支援、研修体系の整備、研修機会の確保と活かせる環境の整備、研究研修費の確保等)				
		職員の危機管理意識の向上	危機管理研修等研修参加率	84.3%	90.0%	98.2%	・医療安全研修会等の開催	・多くの職員が参加できるよう工夫を図り、目標を達成することができた。	・引き続き、より多くの職員が参加しやすいよう、取り組んでいく必要がある。		